

グループホームゆりはま運営推進会議 報告書

事業所名	認知症対応型共同生活介護 グループホーム ゆりはま			
開催日	令和5年11月29日(水) 14:00~14:30			
開催場所	グループホーム ゆりはま			
出席者	構成区分	人数	構成区分	人数
	地域住民の代表	1名	地域民生委員	1名
	地域包括支援センター	1名		
事業所出席者	グループホーム	1名	入居者代表	1名
	事務局	2名	入居者家族	1名
欠席者				

《 グループホーム 状況報告 》 (令和5年9月21日~令和5年11月20日)

利用者の状況	入居者	18名 (定員: 18名)					
	年齢	81歳~103歳 (平均年齢: 89.1歳)					
	介護度別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
		5名	8名	2名	2名	1名	2.2
入退居の状況	新規利用者	0名					
	退居者	0名					

待機者 (27名)

入退院関係 利用者1名入院

【行事関連報告】

月日	内容	参加者
9月29日	中秋の名月(お菓子作り)	利用者18名
10月15日	ゆりはま大運動会	利用者17名
10月31日	干し柿作り	利用者18名
11月2日	収穫祭	利用者18名
11月12日	まつざき元気まつり	利用者6名

* 毎月誕生会実施。天候を見ながら施設周辺を散策。

【研修】

月 日	内 容	備考
10月1日	メンタルヘルス研修	全職員対象
10月1日	虐待防止研修	全職員対象
10月・11月	ケアマネ研修	2名
10月～11月	ジョブメドレー第2期	全職員対象
11月～	心肺蘇生法研修	喀痰吸引資格所持者、希望者
11月～	認知症研修	全職員対象
11月15・27日	鳥取県 DWAT 研修	1名

【事故報告について】（令和5年7月21日～令和5年9月20日）

発生月	件数	介護度	年齢	発生又は発見時間	内容	備考
10月	2件	5	96	14:00	ベッドから介助にて立ち上がる際に、膝折れにて尻もち。	寝起きでしっかり覚醒していなかった。立位動作の姿勢が整っていなかった。 ⇒しっかり覚醒している事の確認と、立位時の姿勢を整えてから立位介助を行う。歩行が難しいようであれば、車椅子の使用を行う。
		2	89	18:00	落下薬の発見	薬の飲み込み確認が出来ていなかった。一度口腔内に入っていた形跡があり、口腔内に残っていた薬を吐き出した。 ⇒完全に飲み込むまで確認する。状況に応じて薬の粉碎を行う。
11月	3件	2	103	11:30	居室内で転倒	午前中の外出で疲れがあった。いつも一人で排泄ができるので大丈夫だという思い込み。 ⇒高齢で外出することにも負担が大きいことを考慮し、本人任せではなく見守りや付き添いを行っていく。
		1	87	15:10	離設	2件とも同様の利用者。他利用者介助中に離設。1件目は、レイクタウン側の住宅街で発見。2件目は、ファミリーマート建設予定地付近で発見する。 ⇒職員間で声掛けを行い、必ずホール待機できる職員がいる体制を取る。一人対応の時間帯は、本人の席の近くの鍵の施錠を行う。
		1	87	11:55	離設	

【感染症発生状況】

11月に職員がインフルエンザに家族から感染。利用者の体調観察を実施し、感染拡大していない。引き続き感染対応徹底していく。

【苦情・意見・要望について】

・お褒めの言葉

誰が	受付方法	内容
利用者家族	来所時に口頭で	日中は仕事で、家に帰っても御飯は別で食べてました。生活するだけで精一杯で、話をする、話を聞くとかほとんどなかったです。話をしても言葉が出ない為、言っていることも分からない、聞くこともやめてしまっていました。昔は話好きで、よく話をしよりました。近所の友達もどんどん亡くなってしまい、話す相手もない状態でした。こちらに入らせてもらうことが決まり「初めは悪いなあ」「申し訳ないなあ」という気持ちでしたが、こちらで生活をするようになって「言葉も出ていますし」「いい表情をしています。」今は、入れて良かったと思いました。ありがとうございます。

・ご意見、要望

誰が	区分	内容	対応
地域住民	要望	現在、レークサイドビレッジ内に公民館などなく、部落の集まりや子供会の集まりで集まる場所がない。もし可能なら、この地域交流室を貸していただきたい。	日程調整させていただき、グループホームゆりはまの予定が空いていれば、使用して頂く方向でお伝えした。
地域住民	要望	どこの介護施設でも、転倒事故が一番多いと思います。特に、平均年齢も高齢ですし、日々体調も変化するので、転倒事故には気を付けて頂きたい。	転倒事故の無いよう気を付けていきます。
家族様	要望	職員間の情報共有について、時々、「さっきの電話連絡の時に言ってくれたらよかったのに」と家族が2度手間で動かなければいけない時がある。また、色々な連絡が何件か入っていることもある。職員間のそのような情報共有はどのような仕組みになっているか。無駄のない連絡をお願いしたい。	情報共有の手段としては、みるみるノートを活用し、出勤時には見るよう決めているが、書かれていない内容の事もあったり、みるみるノートの機能が果たせていないように感じている。今後、職員の情報共有のあり方について、みるみるノートの活用も含め検討していく。

次回：第2回運営推進会議予定 令和6年1月31日（水）14：00～14：30